

令和6年度 事業計画

1. 事業・目標

(1) 事業

- ① 社会起業家団体としてのアイデンティティーを確立し社会の諸課題のソリューションを図る
- ② 魅力ある部会活動を通して会員のメリットを創り出し、成果の高揚を通して会へのロイヤリティを高める
- ③ 早期に120企業会員体制を実現し組織の安定化を図る

(2) スローガン “社会起業家として社会の課題解決に貢献しよう”

2. 組織

- | | |
|----------|---|
| (1) 総会 | 会の最高決議機関 |
| (2) 監事 | 会の監督機関 |
| (3) 顧問 | 会の相談役 |
| (4) 理事会 | 会全体の運営方針を決定する |
| (5) 理事長 | 総会において選任され、理事会の承認をへて会を総理する |
| (6) 副理事長 | 理事長を補佐し、複数部会を担当する |
| (7) 専務理事 | 理事長・副理事長を補佐し、常務を統括する |
| (8) 事務局 | 会務を担当し、事務局員を置く |
| (9) 委員長 | 委員会の目的遂行のために委員会を統括する |
| (10) 部会長 | 部会の目的遂行のために部会を統括する
各部会には部会長・副会長及び必要に応じて部会幹事を置く |
| (11) 会員 | 会員は自由な立場で、複数部会に所属することができる |

3. 諸 会 議

- (1) 総会は年1回開催する
- (2) 理事会は年2回開催する
- (3) 正副理事長会・正副委員長会・正副部会長会は年6回(7月・9月・11月・12月・1月・3月)開催し、事務局も参加して会の方針の徹底を図る
- (4) 部会は原則最低2ヶ月に1回の開催を行う
- (5) その他、随時正副理事長、事務局主管によるコンベンション、講演会、視察会を開催する

4. 委員会構成

- (1) 会員増強委員会

5. 部会構成

- (1) 人材・教育ビジネス部会
- (2) 地域・創造ビジネス部会

6. 活動内容

- (1) 委員会・部会の活動
委員会・部会は年度初めまでにターゲットと評価基準、年間計画を決定して年度末の委員会・部会報告会にその成果をプレゼンテーションする
委員会・部会の開催案内と、会場設営は事務局が行い、委員会・部会のアジェンダ(目標・計画)や資料等の作成と講師等の手配は自前で行う
- (2) 会員コンベンション
年1回は正副理事長、事務局主管により会員企業PR、商品PR、プレゼンテーション発表会、会員コンベンションを行う
- (3) 総会・理事会・部会のあとは交流会を設け、会員同志のビジネスマッチングを図る

7. 委員会・部会の研究テーマ

会員増強委員会

委員長：大関 竜太郎 / 副委員長：泉 聡太郎

赤岩 賢二

- (1) 目標(研究テーマ)
 - ① 年間を通して円滑な例会の設営を行う
 - ② アライアンスに向けた会員の増強
 - ③ メンバー全員にビジネスマッチングの場所を提供する
 - ④ 多種多様なビジネスチャンスや、ビジネスモデルに向けた人的交流・情報交換
 - ⑤ 交流会の設営
 - ⑥ 協議会を広く認知いただく為の活動

人材・教育ビジネス部会

部会長：竹内 盛恭 / 副部会長：二川 泰久
佐藤 平八郎

(1) 目標（研究テーマ）

- ①「社会の様々な資本を活用した新たな教育ビジネスを研究する」
- ①「ITを活用した新たなビジネスモデルを研究する」

ISECの部会員メンバーと外部講師により、様々な社会関係資本を活用することによる新たな人材教育ビジネスのあり方を研究、学ぶ。そしてITを活用した新たなビジネスモデルの研究を行う。

地域・創造ビジネス部会

部会長：吉澤 敦 / 副部会長：上田 良隆
関川 恵一

(1) 目標（研究テーマ）

- ①シャッター商店街のビジネスモデル構築とフランチャイズ化
- ②茨城県や各市町村のこだわりの資源（グルメ・観光資源等）の探索
- ③新たな環境型資源エネルギーや再生可能エネルギーの調査・研究
- ④全国の事例を基に茨城県と各市町村と連携をして“いばらき”まち資源の研究開発
- ⑤茨城空港を利用した観光ビジネスの発展
- ⑥北関東自動車道を利用した観光ビジネスの発展

8. ISEC会員によるビジネスニュースの発行

- (1) ISEC会員企業同志のビジネスチャンスを図る